

山中湖の歴史

探鳥地としての  
富士山の魅力

前号ではこれからの山中湖を考えるための素材にならないかということについて紹介したが、今号から数号にわたって山中湖の歴史について紹介していきたい。歴史の一端を見ることにより、現在の山中湖が成立するまでの経緯について少しでも理解が深まるようであれば幸いである。

さて、現在の山中湖は夏季に多くの観光客を集め、湖畔に残された自然環境を生かした多様な活動を見ることができ、野鳥観察はその一つであり、旭ヶ丘を中心として林内での野鳥観察会が頻りに行われているだけでなく、冬季には船を利用した湖上での水鳥観察会なども人気を博している。こうした野鳥観察の活動が山中湖で行われることは一見、最近のエコツーリズムや野外体験などのブームに乗ったもののように見えるが、はたして歴史的にはどうであろうか。

日本野鳥の会は、当時の鳥類研究と世間との結びつきが離れていることや、文学者の鳥に対する理解の不足を問題背景として中西悟堂を中心とするメンバーらによって昭和9(1934)年に設立された。中西悟堂による柳田国男に関する記述(昭和37年)では、「鳥学者と、広い意味での文人学者や花鳥画家らとの交流の場をつくって正しい鳥の知識を広めること」と「鳥を見るための山野跋涉(シヤクバツ)の風潮を日本に興して、多くの協力で野鳥の生態を掘り下げたいとの願い」が会の設立時の目標であった



緑雨煙る岳麓に  
鳥の巣訪問  
（林の怪物 後見堂）

ヨーロッパ音楽中継  
ニュー・ス・音楽中継  
A.K.の大活躍

わが国初の探鳥会(昭和9年6月4日発売新聞)

と記されている。

同(1934)6月2日、3日には富士山麓の須走村(現小山町須走)において、わが国最初の探鳥会(当時の新聞では鳥見学会と称されている)が日本野鳥の会の主催で開催され、米山館(現ホテル米山館)を拠点とし一泊二日の行程で須走富士浅間神社や日野屋林周辺において野鳥や葉の観察が行われた。参加者は中西悟堂の他、内田清之助、北原白秋、清棲幸保、金田一京助、金田一晴彦、柳田国男など学者や詩人を含め著名な文化人によって占められた。この日本初の探鳥会については柳田国男によって、分らない鳥が何であるのか判明し、自然の素晴らしさは散文の領域でないことを認識する機会となったことが後に回想されている。また、清棲幸保は「研究室に閉じこもって鳥の標本や顕微鏡とだけとり組んでいた学者達の手から生々とした自然の野鳥と親しむ気運が一版市井の人々にも及んだのは嬉しかった」とし、探鳥会がその契機になったことを指摘している。

竹友藻風とともに中西悟堂の日本野鳥の会の発足を助けた内田清之助は後に「鳥の数の多い事は無論その種類数も非常に多く百六十余种もあります。そして無論その中には冬鳥もありますが、此の地方で繁殖するものだけでも百十数種の多きに上ります。斯様なわけで此の地方は先ず鳥の楽園と謂つてよいのであります」と記述し学者の立場から探鳥地として



山中湖で行われた水鳥の観察会(平成15年12月14日)

の富士山麓の魅力について言及している。また、前述の探鳥会に案内役で参加している松山資郎は雑誌「野鳥」(1938)において「最短時間に、而も短距離の間で多数の鳥の姿を見ることが出来、その鳴きを楽しむことの出来る場所として最も便利なのは、静岡縣駿東郡須走村を中心とした山麓地方である」と絶好の探鳥地として須走を紹介した上で「そこで是非とも優れたガイドの必要が起ころう。此の點に於ても幸いにして須走村は實に恵まれた處である。こゝには天才的の名ガイド高田昂氏が住んでゐる」と名ガイドの存在を指摘している。

以上から、富士山麓が探鳥地としても魅力的な場所であるということや、その魅力を最大限發揮するためには、紹介し伝える人の役割が大きいということに気づくであろう。そしてさらに、紹介した記述の中には山中湖が登場するがこれは次号に譲るとしよう。

山本(2005,16記)

Information

ゆったりとくつろいでいただける大広間

団体様に最適な300名収容の大広間をお貸ししております。目の前に広がる山中湖と霊峰富士を眺めながらのご休息は格別です。お食事・飲み物はお客様自信での持ち込み手配にてご利用下さい。休憩所、ミーティング会場としてお気軽にお問合せください。3階大広間・2時間10名様で2000円～



<http://www.fujitaya.org/>

ふじたや 旭ヶ丘店

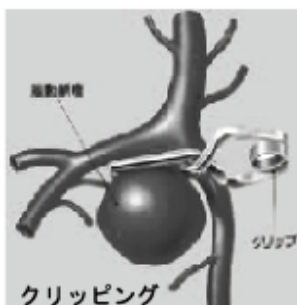
お問合せ・予約 0555-62-1151



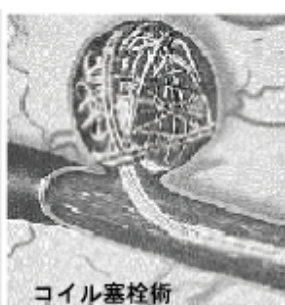
### 脳卒中全体におけるくも膜下出血

日本の脳卒中の特徴をみますと、毎年50万人が新たに脳卒中にかかるといわれます。これはアメリカの4倍です。また、長期入院患者の4割が脳卒中です。現在脳卒中患者総数は150万人ともいわれ、16年後には300万人になるといわれます。これは超高齢化社会をむかえるわが国にとって国家的問題といえます。

酒が関係しているといわれます。喫煙者では、非喫煙者に比べ男性で3倍、女性で5倍近く、くも膜下出血を起こします。その確率は喫煙量に比例し高くなるようです。高血圧症も、くも膜下出血の重要な危険因子のひとつです。喫煙と高血圧の両方を有する方の場合、これらを有しない場合と比べ、なんと15倍近くも膜下出血の危険が増すというデータもあります。日常生活習慣の改善は重要です。



クリッピング



コイル塞栓術

## くも膜下出血の話

千葉療護センター 脳神経外科 内野福生

### くも膜下出血の症状

くも膜下出血の発生率は低い(約10%)ですが、発生すると死亡率が他の脳血管障害より高いのです。しかし適切な処置を行えば助かる可能性も高い病気で、

### くも膜下出血の危険因子

くも膜下出血は、女性が男性の2倍以上多いといわれます。家族の中(親子、兄弟姉妹)にくも膜下出血を患った人がいる方も危険性が高くなります。その他、くも膜下出血の発症は喫煙、高血圧、大量飲

これまで経験したことのない突然の頭痛で発症します。頭痛とともに嘔吐、意識レベルが低下することも多く、危険な病気です。原因のほとんどは「破裂脳動脈瘤」ですが、これまで開頭(頭蓋骨を開ける手術)クリッピング術が多く行われていました。最近では血管内からコイルによる治療も盛んに行われています。脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血の場合、神経症状が軽度の場合には早期の治療を要します。診断と治療の選択には造

影CT(3DCTA)が役に立ちます。3DCTAはCTを細かくスライスしたものを3次元で合成したものです。撮影は一度で、時間も数分で終わるため、患者への負担も少なく、後から見たい断面を自由に得られ、情報が豊富です。多くの場合、動脈瘤が破裂するまで症状が出ません。したがって破裂してはじめて動脈瘤の存在がわかるケースが多いようです。最近では未破裂動脈瘤のMRI(MRA)で検出して、未破裂の状態ですら

ることも行われています。しかし小さいもの(5mm以下)では破裂する頻度は低いため、経過を見ることも多いようです。

### くも膜下出血の治療

脳動脈瘤の治療には頭蓋骨を開ける「クリッピング」と、頭蓋骨を開けない「コイル塞栓術」があります。クリッピングはこれまで長年の実績から確立された治療法です。熟練した先生方もたくさんいます。しかし、脳の骨を開けるため脳に対する影響も大きい事は事実です。でも良い点は動脈瘤を直接見て処置できるため、安心です。たとえ出血しても落ち着いて処置を行えば問題なく手術を終えることが可能です。手術の時期ですが、状態の良い患者さんでは原則的に出血後72時間以内の早期に行った方が良くとされています。早い時期に治療を行うメリットは、ひとつは再出血を予防できること、もうひとつは「脳血管れん縮」に對処する準備が可能になることです。「脳血管れん縮」とは、くも膜下出血の後、脳動脈が細くなり、脳梗塞になりやすい状態をいいます。これは発症から2週間ほど続きます。

### 最後に

本人や家族の心の準備が出来ていない状況で突然襲う、くも膜下出血は「体の中で起こる交通事故」ともいえます。この症状は歩いてくる軽症から呼吸が止まって処置が不可能な重症まで様々です。一口にくも膜下出血といっても、患者さんひとりひとり対応は違ってきます。コイルでもクリッピングでも可能な動脈瘤もあれば、脳内出血を伴うものでは開頭術のみ適応の例もあります。私達はケースバイケースで判断しなければなりません。くも膜下出血に限らず脳卒中全般の予防には、日常生活習慣の改善が第一です。脳の病気でも結局は体全体の状況の安定が重要なのです。また、血縁関係のご親族にくも膜下出血の方がおられる場合は、脳外科の医師に一度相談されてもよいでしょう。

「開頭クリッピング」を適応するのは、クリッピングに熟達した脳外科医が居ること、動脈瘤の位置形などがクリッピングに向いているか、脳内出血などを伴い脳蓋内圧亢進のある場合などです。「コイル塞栓」を適応するのは、コイル塞栓に熟達した医師(脳外科、神経内科、放射線科、専門医指導医制度あり)が居ること、脳の深い位置の動脈

瘤(椎骨脳底動脈系)の治療などです。いずれにせよ破裂脳動脈瘤の治療では再出血の予防が極めて重要です。つまり「再出血の予防」処置として、外科的治療(開頭)あるいは血管内治療を行います。でも、いずれの治療でも最初の出血のダメージを取り戻す事は困難です。したがって最初の出血でほぼ予後が決まっています。残念ながら現在の臨床医学ではまだ一度ダメージを受けた脳の回復はかなり困難なものです。現時点では手術もコイルもほぼ同程度か、ややコイルに傾きつつある状況です。

ブリガリア国際コンペティション、リュプリアーナ国際コンペティション、フランス国際ワインコンクール、ニューヨーク・ワインエクスプレス・世界のワインコンクールで山梨のワインが認められています。この事実をご存知でしょうか？そしてその美味しさに出会った事はありますか？



<http://www6.ocn.ne.jp/~win/>

# Do You Know?

Wine Shop

山中湖畔明神前交差点東へ二百米 ふじたや 山中店





「眠る地方の資産を磨け」という記事が目飛び込んだ。前回の原稿で山中湖の景色は世界に誇れる日本有数のものであり、そこに訪れる日本人旅行者も住んでいる人もその本当の価値に気付いていないのではないかと書いたが、その直後の11月であつた。日本経済新聞の一面トップ記事は、オーストラリアの投資銀行が箱根のターンバイク道路を東急から買い取つたというびびりす

る内容であつた。富士山と芦ノ湖を望む景観は眠れる宝で、景観の価値を外国の企業が認めたとのである。日本国内の常識は、外から見ると違うのだと言っているのである。

どんな組織でも会社でも始終外部の意見を集めるような工夫が必要である。日産のグリーン改革も社長個人の意気込みだけではなく、外部コンサルタントの意見と提案があつたと聞

く。山中湖の観光についても外の意見がもつとも大切なのはなからうか。加えて前回も触れたが、住んでいる人の関心と参加が重要である。

外の目という点では二・三思いつくことがある。仕事柄東京で様々な欧米人の家庭に呼ばれ、居間のインテリアを見る機会がある。共通して言えることは日本の伝統家具をうまく洋風家具の間に配置していることだ。居間に車算筒、船算筒、水屋算筒などの時代算筒を置いてアクセントとしている。火鉢や行灯、陶磁器なども上手にインテリアに使っている。そういう私もあるアメリカ人が帰国するとき譲り受けた水屋算筒を居間に置いていて、

う劣悪な都会から山中湖を訪れるお客さんが触れたいのは、ツーバイフォーのペンキ塗りのハウスというよりは、DNAを喜ばせ心を和やかにさせてくれる地方色豊かな建物、伝統建築なのだ。現代的建築でも風光に調和してあげよう。

私が住んでいる世田谷には区が管理している茅葺屋根の民家がいくつかあつて、観光地ではないが訪れる人が絶えない。こうした心のふるさとに都会人は飢えている。人を惹きつけるスポットは例外なく日本の原風景景観を提供する所だと思ふ。

これが最も気に入っている飽きのこない家具のひとつになつている。

いえはその価値をドイツ人から教えられる始末である。ブルーノ・タウトの日本美再発見ではないけれど、外から指摘されるまでその価値に気付かないことが多い。明治以後、浮世絵を初め相当な数の美術工芸品が海外に流出したのもそのためだ。

さて、山中湖を世界的にするには、と思考を巡らせようとしたとき、騒々しいボートの爆音で思考が中断されてしまった。

昔はいい学校を出て、いい企業に就職し、安定した生活を考えたが、今の学生達はそんなことはない。それよりも自分のスキルを高めることや、「ほかに面白い事はないか」という風がかりを物色する。そこで、何か手がかりを掴めば、ものすごく勉強する。例えば、情報技術やインターネットに興味を持ったとすると、大人が付いていけないくらい勉強する。しかし、悲しいかな今の大人はこれを学力とは見ないのではないだろうか。昔流の見方で学力を論じる事自体がナンセンスなのである。個性的な教育を行うためには、基礎的な内容を徹底的に教

えればよいし、基礎的な内容を理解したら、後は個人の興味に任せればよいと思ふ。

茨城に住むドイツ人の陶芸家は、茅葺屋根の農家を住居と工房にしている。朽ち果てそうな農家を美しく修復し、よみがえらせ、それでいて中は現代の生活に合う合理的な作りにしてある。農家は周りの田園風景や自然と調和して

これが日本の農村風景の原型ではないかといえるほどだ。

山中湖の周辺にも茅葺屋根の農家はいくつもあるはずだ。コンクリートジャングルとい

ではないだろうか。基礎をクリアした人は、芸術でもスポーツでも、本人が興味を持っている内容をやらせればよいし、その上で自分の進みたい道を選んでいく方法を取ればよいと思ふ。そうすると、今言われているような学力低下論などはほとんど意味を持たないと思ふ。

今、スポーツ界で海外へ挑戦する若者がいますが彼らが外国語を喋れないからといって、その人の海外で生き抜く能力が弱いとはいえない。彼らは、外国語はあまりうまく喋れないけれど、大変な「生きる力」を持っている。松井にしろ、中田にしろ非凡な能力を持っているからこそ世界のどこへ出て堂々と通用する。つまり色々な分野で「松井、中田」になればいい。それは、料理でも大工さんでもいい、音楽、スポーツ、農業、芸術その他どんな分野でもいいから、自分の得意なところで力をつけて自信を持つことが「生きる力」だと思ふ。

坂田(2004.12.19)

「もつと「生きる力」を

富三人の教育コラム

私たちの世代から今の学生達を見ると「こんな事も分らないのか」「我慢強くないな」と思うことは確かにある。これは生活が豊になると仕方がないことだと思ふが、こうしたことが、今の学力低下論につながってきているのではないか。しかし、別の面から見ると昔の私達より、優れているところも持つていないだろうか。

私達は満足させようとすると思ふ。この知的好奇心への挑戦心を持たせる教育が今から大事か。

いらっしやい

# 山中人

(やまなかじん)



プチ・リゾート 香磁 KOHJI  
伊藤尚士様とご家族

山中湖に来て6年が過ぎようとする我が家には、先日次女が誕生しました。都会の暮らしに思う事があり、この自然豊かな土地に移り住んで商売を始めました。子供がいない頃には有り難みを感じなかった事に気が始めた様な気がします。都会の生活は「欲しい物に簡単に手が届く」様な便利さがあり、生活する事には楽かもしれません。初めの頃はその事にストレスを感じていました。子供が出来て生活リズムは一変し、さらに苦勞がかかる事もありますが、足元には沢山のお金で買えない物がある事に気付いたようです。この豊かな自然環境、水、空気、いつか子供達に「ここで生まれてよかった」と思ってもらえる日が来る事が、私たちが山中湖に来た報われかただと思っています。その日が来るまで、そしていつまでもこの環境が崩れないでいて欲しいと願っています。

あまりに気になったので、話しかけると「暇だから」と！環境問題とか道徳問題を持ち出すかと期待していたのに……うーん、そのままとっていいの、何か深い意味があるのか、とにかく簡単な答え。簡単といえばゴミ拾いだって簡単な事。今のところ私自身に出来そうなどころはゴミを拾うくらいは事だし、とりあえず湖畔のゴミ拾いでも始めようか。



ゴミを拾う人

## 作り方

### 〔シジミトマトソース〕

- ①シジミは白ワインで蒸して身を取り出し、汁をこす。
- ②オリーブオイルでにんにく、玉ねぎのみじん切りを炒める。
- ③玉ねぎが透き通ったらトマトのホール缶とローリエを入れ2/3程度になるまで煮詰め、①のシジミとこし汁を加え、塩・胡椒で味を調える。

### 〔ニョッキ〕

- ①じゃがいもをレンジ強で7分蒸かした後、皮をむきつぶしておく。
- ②じゃがいも、強力粉、薄力粉、オリーブ油、塩・胡椒を合わせ、よくこね、ひとまとめにしておく。
- ③鍋にお湯を沸かし、親指大にちぎった生地を少し平たくし、浮き上がるまで茹でる。

### 熱々のニョッキに

熱々のソースをかけて召し上がれ！

Naoko TAKAMURA



## ●材料(4~5人分)

- |            |              |
|------------|--------------|
| 〔ニョッキ〕     | 〔シジミトマトソース〕  |
| じゃがいも…中2個  | しじみ…300g     |
| 強力粉…60g    | 白ワイン…大さじ2    |
| 薄力粉…60g    | トマトホール缶…400g |
| オリーブ油…大さじ4 | 玉ねぎ…1/4個     |
| 塩・胡椒…少々    | オリーブ油…大さじ3   |
|            | にんにく…1かけ     |
|            | 塩・胡椒…少々      |
|            | ローリエ…1枚      |

ニョッキ・シジミトマトソース

現代人の最も大きな栄養欠陥は食生活の変化などによるミネラル不足にあることは広く知られています。ミネラルは元来大地や海中にあるものですが、雨が大地よりミネラルを湖に運び、そのミネラルを養分にしてシジミは育つのです。したがってシジミの体内にはあらゆるミネラルが含まれており、特に現代人に不足しているカルシウム、鉄、ビタミンB12が豊富に含まれています。

シジミはミネラルの宝庫

## 謹賀新年

あけましておめでとーうございませう。

平野・山中・長池の各村が合併して中野村が誕生したのは今から130年前の明治8年、そして昭和40年1月1日、中野村から現在の山中湖村に変更され今年で40年が経ちました。

戦後の進駐軍との係わり、高度経済成長の中での観光発展、そしてバブル経済の崩壊。笑いも涙も、優しさも怒りも感動も衝撃も……40年という歳月の中で山中湖村が創りあげ残してきたもの。忘れられ、失ってきたもの。そしてこれからもつづく未来への限らない時間の中で山中湖村は一体どこに行こうとしているんでしょう。

今年の干支は乙酉(きのこととり)、十二支の中で酉年は夜明けを告げる年だとか、また五行の中で乙(きの)は樹木が生長する様で、軋んだ草木が伸びだそうと屈曲している状態を表している春の象徴だそうです……どうですか？前向きに話をするにはいい年ではないでしょうか。



Welcome to Lake Yamanaka  
The natural resort in the World.

# 山中湖

FM Yama na ka - ko

●2005年1月10日発行 ●季刊4回発行 ●第二号

- 発行人/編集人 高村 達也
- 編集アドバイザー 齊藤 崇年 (KDDI)
- Special Thanks 山本 清龍 (東京大学)
- 坂田 史男 (ドイツ観光局)
- 内野 福生 (千葉大学医学部OB)
- 高村 富三人 (ZERO設計事務所)
- 高村 安浩

●FM山中湖編集室 山梨県山中湖村山中99

Mail: bonjour@jasmine.ocn.ne.jp FAX: 0555-62-1512

http://www.fujitaya.org/fmyamanakako/index.htm

(バックナンバーはこちらのページからご覧いただけます)

※ このミニコミ紙に掲載する記事 & 広告を募集しております。お問い合わせは上記編集室まで Eメール、FAXまたは郵便にてお願い致します。